



紀宝町

議会だより

第 53号

令和2年12月1日 発行



議会日誌

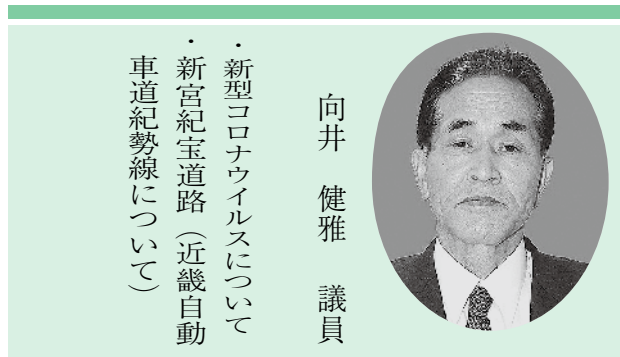
令和2年7月～9月

- | | | | |
|-------|-----------------------------|-------|--------------------------|
| 7月14日 | リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会総会（津市） | 11日 | 紀宝フェスティバル実行委員会 |
| 17日 | 三重県町村議会議長会正副会長会・理事会（津市） | 18日 | 三重県議会正副議長との意見交換会 |
| 20日 | 熊野川改修促進期成同盟理事会及び総会（新宮市） | 24日 | 三重県部局長意見交換会（津市） |
| 21日 | 熊野川河口に橋を架ける会 要望活動（松阪市） | 26日 | 熊野・南郡正副議長会三重県知事へ要望活動（津市） |
| 22日 | 浅里地区地すべり関係三重県へ要望活動（津市） | 9月 1日 | 総務産業常任委員会 |
| 27日 | 熊野川河口に橋を架ける会 要望活動（和歌山市、大阪市） | | 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 30日 | 議会運営委員会 | | 教育民生常任委員会 |
| | 全員協議会 | 2日 | 三重県議会 戦略企画雇用経済常任委員会調査 |
| 31日 | 第2回臨時会 | 6日 | 熊野川河口大橋記念碑除幕式 |
| | 三重県町村議会議長会第72回定期総会（津市） | 8日 | 地方創生まちづくり特別委員会 |
| 8月 3日 | 熊野・南郡正副議長会 | | 議会運営委員会 |
| 5日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町） | 15日 | 議会運営委員会 |
| 6日 | 熊野川河口に橋を架ける会 要望活動（津市） | | |

9月定例会 一般質問 (要約)

令和2年第3回紀宝町議会定例会は、9月15日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、広域連合議会議員報告を行い、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の16日にわたり7人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、条例の一部改正1件、一部事務組合規約の変更1件、令和2年度一般会計補正予算、特別会計補正予算(2会計)、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件を原案どおり可決、第3日目の17日に令和元年度の一般会計及び特別会計(6件)の決算を原案どおり認定し、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出、続いて、意見書6件を可決し、閉会しました。



向井 健雅 議員

・新型コロナウイルスについて
・新宮紀宝道路(近畿自動車道紀勢線について)

新型コロナウイルス

議員 質問に入る前に、自民党の総裁選に出られた菅さんが当選されました。この方の政治的に関することについては、以前、横浜の市議会議員その当時に各省庁の縦割りの行政運営ですが、そのことについて特に思っていたことは、各省庁の連携が非常に大切だということをおっしゃって、今回総

裁選の中でもその点を強く申されておりました。そのことについて、私自身もそう思っております。それでは新型コロナウイルスについて質問させていただきます。新型コロナウイルスの状況が、特効薬ができない中で非常に大変な時になっております。経済もそうです。そういった中で、町としても単独でいろんな事業をやっていたಿದೆいます。すが、そのことも含めて冒頭に申し上げたように、新型コロナウイルス問題は、助

成金等についても、各担当課との横のつながりは必ず出てきますので、出来る、出来ないは別にして他のいろんな状況が出てくる、そこらへんも含めたなかで考え方を柔軟に持っていたきたいと思ひます。新型コロナウイルスについては経済状況も、本当に商売をやっている方、勤めている方、も全て含めてですね、大変な状況になっています。今後とも町のほうで出来る限りの助成というか、そういう事業があれば積極的に取

り組んでいただきたいと思います。

町長

新型コロナウイルスの問題について大変ご心配をいただきまして、ありがとうございます。事業的には縦割り行政の中でということ、議員皆様方には、各課で別れているという状況がある、ので、そういう受け止めかたをされているかも分かりませんが、ただ我々としては新型コロナウイルスの感染症対策ということで、町独自の支援については、各課から考えられる対策を上げていただいて、一同のところで、じゃあどの事業を取り上げてどうやっていこうかというようなことを検討して最終的に私のほうで結論させていただいて支援をしていく、方策を提供していくというようなかたちで進めさせていただいています。町全体の役場各課の総意というかたちの中で取り組みをさせていただいておひますのでご理解いただきたいと思ひます。

新宮紀宝道路(近畿自動車道紀勢線)

議員

新宮紀宝道路近畿自動車道紀勢線についてお伺いします。先日、河口大橋の関係で

基盤整備課長

らないというふうに使っております。賛成した私自身もそうですし、当局のほうも痛みを背中に背負いながらやっていかなければという点もござひます。今の用地の進捗状況をお伺ひします。

記念碑の式典が行われました。感慨深いものがあるかと思ひます。合併前の平成14年に民間で立ち上げそのあと平成16年、行政と一体になって会を立ち上げたと。私は平成18年の合併時から参画をさせていただひており、その間、長年にわたる要望活動それについては非常に細やかに要望をしてこられたと思ひます。事業に関しては何度も言うようですが、どの事業にしても100%という事業はないと思ひます。例えば1割、2割、そのことをすることによって不具合が出てくるというところがございます。どの事業も一緒です。その点について出来る限りの手当といひますか、出来ないこともあるでしようが出来る限りそういう点について、これからも手当をする考えを持って、しっかりと考えていかなければな

議員

一般国道42号新宮紀宝道路の用地補償の進捗についてご報告いたします。8月31日現在の契約状況であります、248筆中、243筆、97.9%で、面積といたしましては58025.03平方メートル中、56368.88平方メートル、97.1%であります。国土交通省・県プロジェクトチームでは、今後も契約締結に向け、ご理解を頂くよう努力してまいりたいと思ひつております。

基盤整備課長

これから残りについては、一生懸命努力をしていただひて道路の完成が一日も早くなるように努力をしていただきたいと思ひます。次に、工事の進捗は現時点でどうなっているのか伺ひます。

議員 工事の進捗状況であります、紀宝町域につきまして

は、新宮紀宝道路紀宝ランプ橋下部工事、本年8月末には、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4ーP6下部工事の2件が完成しております。次に、新宮紀宝道路紀宝IC下部工事として、ONランプ橋の橋台1基の工事、新宮紀宝道路JR高架橋P1、P2、P3、P4下部工事として、JR高架橋の各橋脚工事、新宮紀宝道路JR高架橋A2下部他工事として、JR高架橋の橋台1基の工事、新宮紀宝道路紀宝ランプ橋P1下部他工事として、OFFランプ橋の橋脚1基の工事、計7件の工事が現在施工中であります。また、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4ーP6上部工事、前田建設株式会社が52億1840万円、熊野川河口大橋A2下部工事を、株式会社濱本組が1億2947万円、契約し現在施工準備中でありまひす。今後の発注予定につきましては、新宮紀宝道路鵜殿東地区工事用道路設置工事、新宮紀宝道路他事業用地管理その他工事の2件が公告済みであります。また、今後の発注見込みとしまひては、新宮紀宝道路JR高架橋



大倉 孝司 議員

・熊野川の掘削状況について
・鵜殿港への防犯カメラの設置について

熊野川の掘削状況

議員

去年の今頃は想像もしなかつた新型コロナウイルスが猛威をふるう大儀な日々が続い

ております。早くワクチンができ、もうこれ以上拡大することなく、この紀宝町にやってこないことを祈るばかりでございます。まず始めに、熊野川河口の砂利掘削の経緯について説明をお願いいたします。

基盤整備課長

掘削状況についてご説明させていただきます。平成23年台風第12号洪水による甚大な浸水被害を踏まえ平成24年度から平成29年度の間、河川激甚災害対策特別緊急事業により約215万立米の河道掘削を実施いただきました。平成29年度からさらなる浸水被害軽減を図るため、令和3年度までの概ね5年間で約90万立米の河道掘削を実施合わせて、約260万立米の掘削を実施いただひている状況であります。

議員

掘削された260万立米の砂利の行き先はどのようにして決めているのか。

基盤整備課長

三重県側、紀宝町におきましては、海岸侵食対策としまひて、鵜殿港平島海岸と七里御浜海岸の養浜材、又、南海

トラフ巨大地震による津波等に備えた防災施設整備への活用や、成川地区高台整備、鮎田地区高台整備、高岡地区高台整備および町道整備の盛土材として有効活用している状況であります。

議員

井田ウミガメ公園前あたりの海岸に相当の砂利が運搬されています。井田公民館前の海岸から少し鵜殿寄りのあたりは国道の下がすぐ海という状況で波が荒くなると、国道に石が打ちあがるような状態になっております。七里御浜海岸全体への供給はできないのか。

基盤整備課長

七里御浜海岸全体への供給につきましては、現在、国、県において、侵食・高潮対策事業として熊野川掘削砂利を有効活用した養浜工に取り組んでいただいております。現在、道の駅ウミガメ公園付近より養浜事業を行っておりますが、県内海岸整備等の予算が厳しい状況であることから、対策箇所など総合的に優先順位等判断しながら、国の掘削工事と調整を図りながら鋭意進めていると伺っております。

ます。七里御浜海岸の砂利浜を維持していくためには、熊野川掘削砂利の継続的な土砂供給とともに、熊野川流域の総合的な土砂管理が重要であると考えております。

議員

次に、熊野川河口の砂利掘削による効果はどのようになっているのか。

基盤整備課長

平成29年8月7日の台風第5号では、熊野川成川地点及び支川相野谷川高岡地点共に、1.5mの水位を低下させ、氾濫の危険性を回避し、安全に流下させることができた。伺っており、平成30年9月30日の台風第24号では、成川、高岡地点共に約1.4mの水位の低下、令和元年8月15日の台風第10号では、共に約1.3mの水位低下の効果を発揮したと伺っております。

議員

1.5mから1.3m、すごい高さですよ。災害が減ったの大変喜ばしいことだと思います。今回の件について一つ気になることがあります。北越コーポレーションさんの堤防海側の砂利浜が急になくなったような状況になっておりま

す。去年の台風でテトラポットが相当数流されたようです。この掘削と何か因果関係があるんでしょうか。分かる範囲でよろしいので、お答え願いませんか。

基盤整備課長

南防波堤の堆積砂利の減少について、国土交通省のほうにも確認をさせていただきました。原因調査等は実施していないとのことですが、熊野川の洪水や波浪、潮流など様々な要因によって現在に至っている、掘削による直接的な影響というのは、今のところ確認できていないということです。

鵜殿港への防犯カメラの設置

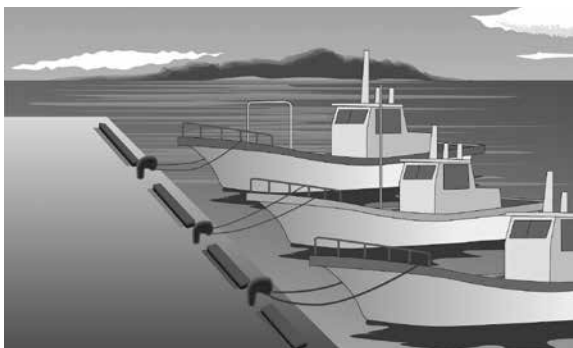
議員

鵜殿港への防犯カメラの設置について、お伺いいたします。鵜殿港内において、ごみを不法投棄する人が後を絶ちません。ただ、悪いことばかりではなく朝早く、ごみ袋を

片手に散歩されている方も何人かございます。また停泊中の船にいたずらされる等の事案もあります。中には警察沙汰になったこともありまして。今年になって、2月・3月と続いて、ボヤ騒ぎが発生しております。この火が船等に移ると大変な被害となります。港内に防犯カメラの設置をし、問題の減少を図れないものでしょうか。

基盤整備課長

鵜殿港につきましては、三重県管理の港湾施設であります。三重県では、港湾施設の管理について、週1回港湾施設のパトロールを行っており、また、各防潮扉の開閉状況等の動作確認を目的に施設管理用のカメラが8基設置され監視している状況であります。防犯カメラの設置につきましては、港湾パトロールや施設管理用カメラにて管理していることから、防犯目的の設置については困難であると伺っております。また、停泊中の船舶のいたずら等につきましては、船舶所有者や紀南漁業協同組合にて管理、対策をお願いしたいと考えております。防犯カメラの設置につ



きましては、施設管理者である三重県に対し、占用許可申請が必要であります。漁協が防犯目的でカメラを設置することは可能であると伺っておりますので、ご検討をお願いしたいと考えております。当町としても、三重県へパトロールの強化等をお願いするとともに、三重県はじめ、漁協、警察、消防署等、関係機関と連携し対策を行ってまいりたいと考えております。

議員

少しでもトラブル等が減少するような対策をとっていただきますようお願いいたします。

みらい健康課長

〇も発表しているように無症状の人から感染が広がっているということ。インフルエンザと合わせ第3波の流行が予測されるなかで医療、介護、学校、保育所、障がい者等の各施設で働く人達に対しPCR検査を行うべきではないか。

みらい健康課長

定期的なPCR検査を実施することについては、様々な課題があると考えられます。地域における感染状況、症状のない人に検査を行う必要性、人材確保による医療機関への影響、検査の頻度、検査される方の心的、時間的、物理的な問題、費用負担など慎重に検討する必要があると考えます。

議員

厚生労働省は10月中旬から発熱等の症状のある人について検査できるとしているが、今後の流れはどうなっているのか。また、検査費用は有料なのか。インフルエンザによる学級閉鎖でどうのなるのかは保護者の方が最も心配している問題であります。その際のPCR検査をどう行っていくのか。

議員

今後のPCR検査につきましては、かかりつけ医が感染症が疑われ緊急性が低い状態であるが、検査が必要と判断した場合において検査することができる紀南地域検査センターを設置することになっております。費用につきましては、検査のみ自己負担なしの公費で行われます。

議員

新型コロナウイルス対策として国から国保、介護保険料の減免措置が示され事業収入が3割以上減った方について減免措置が行われることになっております。申請期間については国保、介護保険料が3月末まで、コロナに感染した方に適用される傷病手当金が9月末ととなっております。今後とも長引くことも予測されることから期間延長を国に申し立てさせていただきます。

住民サービス担当理事

国保につきましては、電話相談や窓口相談を受けて減免申請を行っています。9月4日現在で全額減免が12世帯、8割減免が1世帯となっております。

福祉課参事

介護保険料の減免につきましては、9月14日現在で4件の申請を受付けています。国民健康保険の傷病手当金の支給期間延長につきましては、国、県、他市町の状況を推察しながら検討してまいります。

議員

国保における均等割り、平等割の減免措置も他市町では行っています。紀宝町でも行うべきではないか。

住民サービス担当理事

今後の検討課題として受け止めさせていただきます。

議員

7月29日、紀宝町では独自対策として緊急事態宣言を発しました。保育所に通所する児童保護者に対しては通園を自粛された場合は保育料等の日割り計算を行いますとの文書を8月5日付けで発送しています。8月21日（金）「宣言解除」を行いました。しかし職員が知ったのは8月24日（月）メールで知ったのとことです。さらに保護者に対しては8月26日付けで保育料等の日割り計算については解除日の8月21日までとしますと

防災対策について

議員

7月、熊本県球磨村では深夜に発生した集中豪雨により特別養護老人ホームでは貴重な生命が奪われました。予測される南海トラフ大地震が発生した場合、特別養護老人ホーム亀楽苑は海拔8・4m、2階部分は12mで29名が入居されています。しかもほとんどの方が自力避難困難者と聞いています。津波予測高が10・2m、到達時間が約10

分で深夜に発生した場合、当直員3名でどのように全員避難させるのか。

健康福祉担当理事

紀南特別養護老人ホーム組合に、亀楽苑の避難体制を確認しましたところ避難訓練を毎年4回以上継続的に実施し、津波想定避難訓練や夜間想定火災避難訓練等により、防災体制の強化を図っていると同っております。津波夜間訓練を実施したかは把握しておりません。亀楽苑からは津波発生時の避難マニュアルというところで、大地震時の夜間3、5名ほどこ職員がいらないところのマニュアルを策定し対応しています。このマニュアルで全て対応するのではなく3名で想定したなかで対応を進めていくマニュアルとして定めていると同っております。

令和2年度幼児教育（保育所、幼稚園）

議員

幼児教育アンケートでは子どもの人口減少に伴い、うどの幼稚園と各保育所の統廃合

難病患者の支援

議員

難病患者支援について伺います。私たちの住む牟婁地区は難病が多発すると以前より耳にしております。先日熊野保健所に伺いましたところ、ALS筋萎縮性側索硬化症という病名で全身の筋肉が硬直していき自身での生活が困難になるといいます。この難病は全国での発症数は10万人に1人ぐらいですが、平成31年度の紀宝町の町内での患者数は4名です。全国平均の約40倍の高い発症率になっていきます。ご本人はもとより家族の負担は計り知れません。町としても実態調査をし、国・県に対して治療の研究とか、いろんな費用に対して要望していただくことができないか伺います。

みらい健康課長

難病対策ということで、治療研究費の増額要望いうことですが、今回取り上げられております筋萎縮性側索

をどう進めていくかが主目的と考えます。調査結果では夫婦共働きの方が多く、保育時間の延長、夏季、冬季保育の実施を要望する声が多いが要望を聞くべきではないか。

健康福祉担当理事

今後は、より良い幼児教育の推進に向けて幼稚園、保育所の在り方について意見交換会を実施していきたいと考えています。

※この他に「東紀州広域ごみ処理について」の質問がありました。



瀬越 幸雄 議員

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・難病患者への支援について
- ・町内県道の歩道について

新型コロナウイルス感染症対策

議員

新型コロナウイルス感染症対策について伺います。

新型コロナウイルス感染症が完全に収束しないなかで、医療機関の負担の軽減、また住民の命を守る立場からインフルエンザワクチンの接種率の向上に努めなければならぬと考えます。特に今年は新型コロナウイルス感染症が流行しているため医療機関に行くことを躊躇う町民の方が増えるのではないかと心配しております。紀宝町では高校生までの方にはインフルエンザワクチンの接種費用の負担をしていくことになっておりますが、高齢者のワクチン接種に関しても自己負担1500円で受けられるが、町のほうでさらに助成していただいて、接種率を高め、インフルエンザにかかる患者数を極力抑えていくことが町民の安心安全につながるのではないかと思います。町としてこのワクチン

への自転車通勤もされている方もおられます。歩道のある道路改良を進めていただけのように要望いたします。

基盤整備課長

議員

町長も、厚生労働省など国のほうへ行つた時に、こういうことを何か言える機会がありましたら、ぜひ要望をしていただきたいと思います。

町内県道の歩道

議員

町内の県道の歩道について伺います。井内地区の工業団地入り口を含め、倉本橋、相野川橋という2つの橋を越えて、大里トンネルの間が急な勾配の道路になっています。近年は交通量も増大している、道路幅全体の幅員も狭く路側帯もほとんどない箇所もあります。また、この道路は紀南高校への通学や、又は工業団地



ンの接種率向上の方策は。

みらい健康課長

65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種については、予防接種法により定期接種B類疾病に分類されております。主に個人予防に重点、接種の努力義務なし、接種勧奨なしの予防接種となっております。町として、1人1回、約3千円を負担し、町民の方が1500円でワクチン接種が受けられるよう、医療機関と委託契約をしております。引き続き1500円で接種を行っていたきたいと現在考えております。また接種率向上は新型コロナウイルス対策に繋がるものと考えておりますので、来月号の広報折込により高齢者インフルエンザ予防接種についての周知を行う予定としております。

議員

感染拡大の立場から公共施設への消毒によるコーティングについて伺います。新型コロナウイルス感染症は飛沫感染と接触感染によつて感染すると言われていると思います。マスクや手洗いな



萩野 進也 議員

・食品ロスについて

食品ロスについてお伺いたします。食品ロスは3つのパターンになります。①家庭や飲食店での食べ残し。②形が壊れた商品や規格外の加工品③賞味期限が切れた加工食品。賞味期限が切れたことによつて経済的な価値はなくなりますが、消費期限が残っていれば食品としてはまだ活用出来ます。賞味期限切れの問題につきましては、特産品開

議員

食品ロスについて

どの習慣も定着しつつあります。また、一人ひとりが感染予防をすることは大切なことだと思います。しかしながら大勢の人が集まる公共施設等では不特定多数の人が触れる場所もあり、接触感染のリスクが高まると思います。そこで建物全体を消毒除菌コーティングすることも検討していただきたいと思います。

みらい健康課長

感染防止策として、施設への消毒コーティング導入についてですが、抗ウイルス・抗菌機能があると言われるコーティング剤について、その効果と対策活用について、保健所に問い合わせいたしましたところ、国・県が感染防止策として指導や推奨をしているという情報は持ち合わせていないとのことでした。そういったことから現在のところ、導入する予定はございません。今後、国・県が推奨することになれば、導入について検討したいと考えております。

発、物産振興にもかかわってきます。日本では年間643万トンの食品ロスによる廃棄があります。一人あたりにすれば約50kgになります。廃棄コストは年間2兆円も使われています。「ワンガリ・マータイ」というケニアの女性をご存知ですか。2005年の65歳の時に来日した女性です。環境分野で初のノーベル平和賞を受賞しました。来日した時インタビューの中で使った言葉「もったいない」が流行語になり、時の人となりました。この「もったいない」が食品ロスそのものであります。出たゴミは捨てればただのゴミです。しかし活用されればそれは資源になります。紀宝町において給食等から出る生ゴミの量は年間どのくらいありますか。

健康福祉担当理事

福祉課から町内保育所及び紀南特別養護老人ホーム宝寿園、亀楽苑において、給食から排出されている年間の生ごみの量は13886kgです。

教育課長

教育課から幼稚園、小学校、中学校において給食から排出されている年間の生ごみ

の量は3920kgです。

議員

それはそのまま廃棄されているのですか。

健康福祉担当理事

生ごみの有効活用につきましては、町環境衛生課が実施している「生ごみ堆肥化実験事業」により、全て堆肥化処理され、有効活用が図られています。宝寿園においては「有機性廃棄物高速発酵処理機」を設置し、排出される生ごみを堆肥化して、園内の花壇等の肥料として活用しています。

教育課長

給食センターの生ごみは、「分解消滅型食物残渣処理機」を設置し、生ごみを水と炭酸ガスに分解し、ごみの減量化を図っています。

環境衛生課長

井田地区では生ごみ堆肥化実験施設を整備し、堆肥化処理作業を行っており、鵜殿地区では高速発酵機を利用して事業系の生ごみを堆肥化し、堆肥は希望者に配布しております。

議員

堆肥を希望者に配布しているということですが、知らない

い町民が多いと思いますので、もっとPRしたらどうか。

環境衛生課長

堆肥の安定した供給が出来ないこともあり周知はしていませんでしたが、今後は希望される方は申し込みをいただいて、有効利用していきたいと思っています。

議員

賞味期限が切れた食品について、これも食品ロスになります。紀宝町の産品を使った特産品づくりにおいて、賞味期限内に販売しきれず、残ってしまうことが多々あります。例えば、みかん100%ジュース、ポン酢、ジャム、梅干し、味噌、菓子類、魚介類の加工品など、町内の物産を使って特産品を作ります。新商品を開発するとき、一部には受注生産が可能な場合もあります。紀宝町には1個当たりの販売価格を考えた時、最小ロットとして500個、1000個というような数を発注することになります。ある程度は販路を見定めています。賞味期限内に販売しきれずに残ってしまうことが多くあります。瓶に入っ

ているもので賞味期限はおよそ1年です。ペットボトルなどプラスチック容器のものでおよそ8ヶ月です。その期限内に売り切ることが出来ず不良在庫として残ってしまします。そのようなことが続く

と、町内の物産を使った特産品づくりにやる気がなくなっています。絞ったみかんジュースを廃棄するようなことが2、3年続くと、そういった特産品作りをやめてしまう現状があります。そこで、賞味期限が切れるまでの加工食品を有効に活用できる案を提案いたします。賞味期限が間近に迫った商品を持ち寄って交換会をすることです。3か月に一度もしくは毎月でもできれば廃棄商品を減らすことが出来ると思います。奈良県生駒市ですでになされています。このような取り組みを行います。紀宝町で行えば、新規商品開発に前向きになると思います。お互いの賞味期限が切れる寸前の食品を持ち寄って交換します。そうすれば廃棄される商品が減るという大変良い取り組みになります。生駒市では、交換会で残ったものは福祉の方へ寄付しています。以上の交

換会的な提案ですが、どう思われますか。

産業振興課長

賞味期限切れなど廃棄されるものを有効活用することにより、ごみの削減だけでなく事業所側の廃棄量削減のメリットもあると思いますので、紀の宝みなと市などで実施出来ないか出店者とも相談しながら検討したいと思っています。

議員

色々な交換の仕方があると思います。事業者の実情を聞いて取り組めればと思います。官と民が協力して、賞味期限切れのことで悩んでいる方々のために、交換会というやり方で、少しでも役に立つことが出来る「きつけ作り」をすれば、小さなうねりであっても、それが徐々に大きなうねりとなり、紀宝町だけにとどまらず、この地方全域に波及していくのではないのでしょうか。賞味期限切れの問題は、賞味期限が切れて不良在庫として残っている商品を廃棄せざるをえない、とりわけ小売業、製造業の方々には深刻なことです。在庫処分ということを少しでも解消できること、そのような取り組



みを地域ぐるみで行っていくことを祈念して質問を終わります。



榎本 健治 議員

・紀南地域に発熱外来、PCR検査センターの設置を（新型コロナウイルス感染症対策について）

他

PCR検査センターの設置

議員

秋冬のインフルエンザ流行期には発熱患者が急増することが予想されています。発熱患者がかかりつけ医の地域で身近な医療機関において、それ以外の患者に接することなく受診し、必要な検査を受けられるような体制を確保する必要があります。発熱患者のコロナウイルス感染症PCR検査が必要な場合の検査体制を強化するために、紀南地域に外

来検査センターを設置する必要があると考えるが。

みらい健康課長

今後のPCR検査体制強化は、紀南地域検査センターを設置する方向で紀南医師会・紀南病院等の協力により設置が検討されております。かかりつけ医が新型コロナウイルス感染症が疑われ、緊急性が低い状態であるがPCR検査が必要と判断した場合において、検査することが出来るセンターとなります。

議員

検査方式とか運営時間を詳しくお伺いしたい。

みらい健康課長

概要としてドライブスルー方式でのPCR検査のみを行う。運用は、月曜日から金曜日の13時から15時、1日、10人程度と聞いております。人員は医師1名、看護師2名、事務員1名、誘導員1名の体制と聞いております。運営費は三重県からの委託費用で行われます。

議員

秋冬期、インフルエンザかコロナウイルス感染症なのか疑わしい場合は、この検査センターのほうで同時に両方検

査できるように、ぜひ柔軟に対応できる体制を整えていただきたいが。

みらい健康課長

PCR検査とインフルエンザの検査、併せてするのが一番、かかりつけ医のほうも安心して、日々の外来を受けることができると思います。立ち上げ後の状況も十分確認しながら注視してまいりたいと思っています。

近畿自動車道紀勢線

議員

近畿自動車道紀勢線熊野川河口大橋について、河口の橋梁部分の完成見込みをお伺いします。

基盤整備課長

今後の発注見込みとしましては、新宮紀宝道路あけぼの中地区地盤改良他工事、新宮紀宝道路あけぼの地区函渠設置工事の2件が公表されております。熊野川河口大橋橋梁部分の完成見込みであります。熊野川河口大橋橋梁下部が、熊野川河口大橋橋梁下部

工事につきましては、全6基が完成しております。和歌山県側のP1-P3上部工事が令和4年1月31日、三重県側のP4-P6上部工事が令和5年1月31日の完成予定と伺っております。

議員

いよいよ橋梁部分、夢の大橋であるこの熊野川河口大橋の橋梁部分が上部工の完成が見込まれる時期も、おおよそ予想がついてきたということ。令和4年の1月31日、それから令和5年の1月31日ということで、大変喜ばしいと思います。次に集客交流拠点施設と公園整備の進捗は。

政策担当理事

町では現在、インターチェンジを効果的に活用し、「なかよし広場」の代替施設となる公園も一体的に整備する集客交流施設について検討を進め、昨年度までに計5回の先進地視察を行い、本年度は調査結果を踏まえながら、調査結果報告書の作成及び提案書の作成を進めているところであります。

議員

この地域は高速道路を南下してくなかで、ガソリンスタ

ンド等々もないエリアです。で、パーキングエリア的なこともしっかりと考えて、戦略的に進めていただきたい。最後に河口大橋の建設にかかる経過というのも調べてみました。昭和14年に河口大橋の建設を陳情、国は工事に着手をしていたが、当時戦争が勃発して中断し挫折してしまつた。平成15年に鵜殿村の住民グループ架け橋虹の会が発足、昭和、平成、令和と、想いが受け継がれています。歴史のある河口大橋ということで町長の所見を伺います。

町長

悲願でありましたこの河口大橋が、いよいよ上部工だけでも令和5年1月に完成予定という状況で、河口大橋それから新宮紀宝道路の活用をしっかりと取り組んでいくことも我々の使命だと思っています。

ICT教育 環境の整備

議員

ICT教育環境の整備GIGAスクール構想について、ICTへの不安を持つ者もいる可能性があるが、教員のICT教育への対応力の向上に向け、国のICT教育サポートなどの活用、セキュリティの問題については。

教育課長

ご指摘のサポーターの活用は、町教育委員会からの要請に応じて、国のアドバイザーがリモート、又は訪問により助言・支援を実施していただける事業で、積極的に活用し、教職員等の負担軽減にも努めながら、誰一人取り残すことなく、ICT環境の整備実現に取り組んでまいりたい。文部科学省によりますと、マイクロソフト社の「Windows」、Google社の「ChromeOS端末」、アップル社の「iPadOS端末」の3種類が示されております。今回本町が導入する端末は、セキュリティ面、コスト面等総合的に考慮した上で、

Google社のChromeOS端末を予定しておりますがセキュリティ対策の向上につきましては、継続して研究してまいります。

議員

デジタル教科書についてはどのように考えているのか。

教育長

2024年度にデジタル教科書の本格導入を計画していることを視野に入れ、本町におきましても本年度中に一人一台の端末が導入される予定で、令和の時代の学校のスタンダードとして、デジタル版の教科書のより効果的な使い方の研究も進めながら、学びが、より主体的・対話的で、深いものへと繋がるように望むところです。

※この他に「児童虐待防止対策について」「新形式学力調査について」の質問がございました。



平野 美津子 議員

・防災対策（タイムライン）について

防災対策 （タイムライン）

議員

防災対策タイムラインについてですが、熊本豪雨災害では想定外の猛烈な雨によって河川の氾濫等甚大な被害となりました。当町の今後の防災対策を考えますと、タイムラインがまだまだ住民の方に浸透しきれていないと思われるます。さらなる防災意識の向上を図るためにもどのように考えられていますか。

総務担当理事

只今の議員ご指摘のとおり、事前防災行動計画タイムラインについては、町民の皆様にも広くご理解をいただき、防災機関・地域・住民が一体となった防災・減災対応ができる仕組みづくりを構築していくことは大変重要なことであると考えております。本町では、タイムラインを全国に先駆けて導入し、地域の自主防災組織や関係機関と連携し、これまで計31回の運用を行ってまいりました。また、運用後には、関係機関と一緒に課題等についての洗い出しを行い運用基準等について見直し改善を図ってきております。町と地域・住民が一体となった取り組みとしては、大里・鮎田・浅里・高岡・成川、この5つの地域で地域のタイムラインというのを策定しております。このことがそれぞれの住民の防災意識向上に繋がっていると考えております。この地区タイムラインを今後は未導入地区への導入というかたちで、推進をしながら住民の更なる防災意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

議員

自主防災組織によつては熱心にやられているところは認識をしている。タイムラインの仕組みというものを全町民に浸透させないと、大きな災害が起こった時には機能しないのではないかなと思っております。そして防災は自助・共助・公助といわれていますが、まずその起こった時は今の順番だと思いますが、まず準備する時点においては公助が全体をきちんと把握していただいて、住民に浸透させるということが今までの具体的に一生懸命に取り組んでくださったという、自主防災組織が今おっしゃったようにやられている。海岸地域とかもかなり危険なところであると思います。河川の側もすごく危険である。平成23年の紀伊半島大水害の時に被害を受けた地域については、その時の認識力があるので皆さん本当に真剣に取り組まれていると思いますが、せっかく早く導入してもらったタイムラインも、大型の同じような豪雨が来た場合に機能しない可能性もあるんじゃないかと思えます。今後具

体的にどのようにしていく方針をお持ちなのか教えていただきたいと思ひます。

総務担当理事

地区タイムラインを町としてはしっかりと普及していきたいと考えております。現在は5か所での策定状況となっておりますけれども、これを全町内に広げていきたいと考えております。

議員

今は、5地区ということですが、それを徹底して広げていくためにはどれくらいの期間が必要だと思ひますか。

総務担当理事

出来る限り早くという考えを持っておりますけれども、各自主防災地区の考え方もございますので、そのへんをご理解をいただくなかで速やかに普及啓発するということかたに努めてまいりたいと思ひしております。

議員

今の時点で、自主防災組織で積極的に取り組んでいるその5地区を除いて何パーセントぐらいが取り組めるだろうと思ひられますか。

総務担当理事

具体的に何パーセントとい

議員

タイムラインを導入していただきやっているとところが一番大切だと思ひます。自主防災組織のその考え方もあるとおっしゃいますけど、危険性とかを捉えた場合に、絶対に地域住民に早く伝えていかないとけないと思ひますね、そういう人材をつくるために、今行政はどのようにやられていますか。

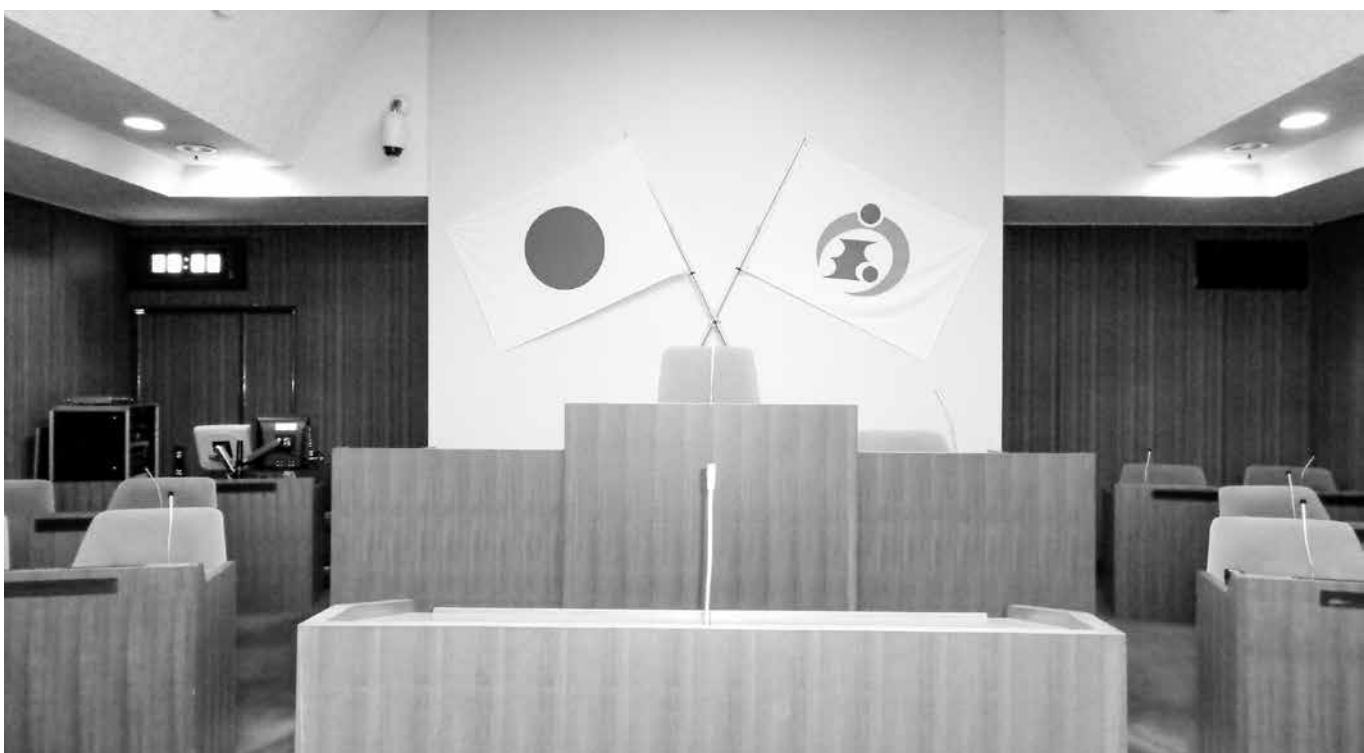
総務担当理事

災害情報連携につきまして、すぐに警報等、いろんな河川の水位情報等も、防災行政無線もしくはメール等ですぐに町民の皆さんにお伝えする仕組みは整っていると考えております。そういった意味で先ほどもいいましたが、やはり自助・共助・公助をしっかりとそれぞれの役割分担の

議員

そういう順番になると思うんです。準備する時点では、災害担当の部署が、住民の命を守るというためにやっていただいている。そこがまずきちんとした方向性を示し、それがタイムラインを一番最初に取り入れたきっかけだと思います。

※この他に「鶴殿保育所移転について」「紀の宝プレミアム付き商品券事業について」の質問がございました。



次回定例会の予定

12月15日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設4ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ①役場本庁舎
 - ②生涯学習センターまなびの郷
 - ③福祉センター（鶴殿）
 - ④相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 紀宝町保健センター条例の一部改正について
- 紀南環境衛生施設事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び紀南環境衛生施設事務組合規約の変更について
- 令和2年度 紀宝町一般会計補正予算（第4号）
- 令和2年度 紀宝町診療所事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度 紀宝町水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 工事請負契約の締結（紀宝町立鶴殿保育所造成工事）について
- 財産の取得（公立学校情報機器購入事業及び地方創生臨時交付金事業 紀宝町立小中学校GIGAスクール情報機器購入）について
- 令和元年度決算の認定
- 令和元年度 紀宝町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和元年度 紀宝町水道事業特別会計決算の認定について
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

意見書（9月）

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 国土強靱化の継続・拡充を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書
- 防災・減災対策の充実を求める意見書

編集後記

今年の夏は大変な酷暑で、熱中症等の危険がありました。この頃はようやく涼しくなり、過ごしやすくなってまいりました。秋は気温の差が激しいので体調の管理が難しいので町民の皆様方も、くれぐれもご自愛ください。今年の秋は、例年になく台風が少なかったが、先日台風第14号の影響で、浅里地区で土砂崩れが発生したとの知らせを聞き心配しておりましたが、怪我をされた方はいらっしゃらないとのこと。安堵致しました。さて、今年も10月の中旬を過ぎましたが、まだまだ二十五度を超える夏日が続いていることから、秋の涼しい日々が短くなり、急に冬の寒さが訪れますね。

昔、芹洋子さんの「四季の唄」をみんなで口ずさんだものですが、春と秋を感じられる日が少なくなり、少し寂しく思う今日この頃です。（文責 瀬越）

「議会だより」（53号）

編集委員 向井 健雅

山本 精一

瀬越 幸雄